

広報しいが市



【特集】 第14回伊賀市非核平和推進
中学生広島派遣団レポート… 2

明治時代の伊賀を訪ねる…………… 6

集団がん検診・若年者健診（後期分）…………… 8

みんなで救急医療を考えましょう…………… 10

伊賀市市民活動支援センターをご存知ですか…………… 12

10月の二次救急実施病院…………… 27

※写真はこどもアナウンサーの取材の様子。市内で行われたさまざまなイベントを取材しました。

UD FONT ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

第14回

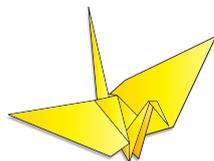
伊賀市非核平和推進 中学生広島派遣団レポート



市内の各中学校の代表として、生徒10人を8月5日から2日間、広島市へ派遣しました。

参加した生徒は、それぞれの学校の生徒一人ひとりが平和への祈りを込めて折った折り鶴を原爆の子の像へ捧げました。また、平和記念式典への参加や平和記念資料館の見学、被爆体験講話の聞き取りなどを通じて、73年前に起きた人類史上最初の原子爆弾による悲惨な現実を見て、聞いて、肌で感じて、非核平和への思いを新たにしました。

その思いを生徒のレポートからお伝えします。



《行程表》

1日目

- 被爆体験講話聞き取り
- 爆心地・原爆ドーム見学
- 広島市立本川小学校訪問
- 折り鶴献納
- 広島平和記念資料館見学

2日目

- 平和記念式典参列
- 放射線影響研究所見学

被爆体験講話

14歳のとき、爆心地から約2km離れた畑で被爆した、山本定男さんからお話を伺いました。

◆上野南中学校 松村 美月

山本さんのお話を聞いて印象に残っているのは、偶然が重なり、命が助かったということです。自分たちが今生きていること、安全に暮らせていることに感謝しなければならぬと思いました。



▶山本さんの話を聞いて、正しい知識を身につけることが大切だと思います。(生徒談)

◀被爆体験講話に聞き入る様子



◆霊峰中学校 山崎 聡真

僕は山本さんから、被爆者への差別があった事を聞き、許せないと思いました。放射能がうつるといって間違ったうわさにより、苦しめられた人がたくさんいたことを知り、正しい事を学んでいくことの大切さを感じました。

原爆ドーム

原爆の惨禍を伝え、核廃絶と人類の平和を求める誓いのシンボルである原爆ドームを見学しました。

◆阿山中学校 城 健

原爆ドームでは、ボロボロになったレンガや鉄骨がむき出しになっていて、原子爆弾の威力の強さと、本当にこの地に原子爆弾が落とされたんだと改めて感じました。こんなことがもう二度とあってはならないと強く感じました。



広島市立本川小学校

約400人の子どものたちの尊い生命が一瞬のうちに奪われた爆心地にもっとも近い本川小学校にある平和資料館を見学しました。

◆崇広中学校 平田 萌恵子

私は本川小学校に行つて、大勢の子どもが原爆で被害を受け、亡くなったり満足に勉強できなかったりしていたことを知りました。私たちが今、授業を受けられているのは決して当たり前なことではないということを忘れず、感謝して生活しようと思えます。



平和記念資料館

原爆による惨状を示す写真や資料などの見学を行いました。

◆青山中学校 椎名 司真

資料館の3階の壁には当時の様子の写真がはってあり、その横には「失われた人々の暮し」という模型がありました。原爆が爆発する瞬間を再現し真上から見る事が出来ました。その様子があまりにも衝撃的でとても心に残りました。

全国各地からたくさんの方が来ていて、それだけ平和を願う人がいるんだと気づいた。(生徒談)



原爆の子の像

市内の中学生一人ひとりが折った折り鶴を捧げました。

◆大山田中学校 葛原 友人

原爆の子の像には多くの折り鶴が捧げられていました。多くの折り鶴には折った一人ひとりの非核平和への思いが詰まっていると思います。この強い思いが私たちだけではなく世界中に広がってほしいです。



▼平和記念資料館



◆島ヶ原中学校 近藤 秀平

資料館を回って印象に残ったのは「残留性被ばく」です。安否の分からない人を探そうとした人たちをも苦しめた原爆について学びました。学習を通して平和を実現しようとする思いがさらに強くなりました。



▶73年前にこれだけの被害があったことが、なかなか受け入れられなかった。(生徒談)

平和記念式典

平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式）に参列しました。

◆緑ヶ丘中学校 藤森 歩珠

式典では、晴れた空にせみの声が響き、当時の情景が広がっているようでした。黙とうで目を閉じると戦争の様子がよみがえってきて、改めて戦争の存在の大きさを、被害を痛感し、もう二度と戦争を繰り返してはいけなくと強く考えました。

◆柘植中学校 辻本 凌太

平和祈念式で黙とうを行った際には、大きな会場が静寂に包まれました。これは会場が平和や非核化をしっかりと願っている証だと思いました。世界で初めて原爆が落とされた広島から平和の波が広がってほしいと思います。



▶世界中の人が参列していて、多くの人が核兵器がなくなることを祈っていると感じた。(生徒談)



放射線影響研究所

放射線影響研究所で放射線について学びました。

◆城東中学校 稲森 穂乃香

放射線影響研究所では長年にわたり放射線による健康被害について研究されていることを知りました。そこで、原爆によってガンや白血病のリスクが高まると知り、原爆の被害はずっと人々を苦しめる恐ろしいものだと感じました。



▼2日間の派遣を終え、平和への思いを新たにした生徒たち



【問い合わせ】

人権政策課

☎ 47・12886

FAX 47・12888

明治時代の伊賀を訪ねる

明治150年

2018（平成30）年は、1868（明治元）年から150年になり、国では「明治150年」に関連した事業が行われています。

150年前、伊賀を統治していた藤堂藩は、鳥羽・伏見の戦いにおいて新政府軍を勝利へと導き、明治維新へと向かう大きな原動力となりました。

明治維新以降、日本は近代化への歩みを進め、政治や行政の制度を整えるとともに、欧米の国々に対抗するため、殖産興業の政策を推進しました。

また、新たな時代の人材育成のため、新たな教育制度を確立しました。「明治」という時代は、現在の私たちにつながる、国のかたちが築かれた時代でもありました。

伊賀市でも明治時代の建築物など、当時の技術や文化に関する遺産に触れることができます。明治時代に成立し、今日の私たちの生活に密接に係わるものをいくつか紹介します。

① 旧小田小学校本館

1875（明治8）年に開設された小田学校は、1881（明治14）年に啓迪学校と改称され、その際にこの本館が建てられました。木造2階建ての寄棟造で、屋上に太鼓楼、正面にバルコニーが設けられているのが特徴です。現存する小学校校舎として、県内で最古の建築物で、県の文化財に指定されています。なお、この建物は、文化財施設として公開しており、明治の校舎の内部を見ることができません。



② 旧三重県第三尋常中学校校舎

上野高等学校に残る木造校舎は、三重県第三尋常中学校校舎として1900（明治33）年に建てられました。南に張り出した玄関ポーチの屋根は入母屋造の破風をみせ、円柱の柱間には細かい装飾が施されているのが特徴です。県内に残る数少ない明治時代の校舎として、石製の正門とともに県の文化財に指定されています。



学校

1872（明治5）年、明治政府は「学制」発布し、全ての国民が教育を受けられるように近代教育制度の樹立をめざしました。

教育制度を整えるとともに、施設の整備も進められ、全国各地で洋風建築を模した校舎が建築されました。伊賀地域でも、啓迪学校（小田小学校）校舎をはじめ、上野寺町の東部学校などに洋風校舎が建設されました。

また、明治20年代後半になると県下において中等教育機関の設立が活発となりました。そうした動きのなかで設立されたのが三重県第三中学校でした。1899（明治32）年には、地域住民の支援により伊賀地域に第三中学校が開校しました。

3 旧上野警察署庁舎〔北泉家住宅主屋〕



1888(明治21)年に建設に着手し、翌年完成した上野警察署庁舎は、木造平屋建て、寄棟造の建物で、入口には切妻屋根の庇が付き、正面の縦長の窓には独特の小庇が取り付けられています。明治時代の三重県の施設としては最古の建物で、県内各地の警察庁舎のモデルとなったと言われています。なお、この建物は国の登録文化財になっています。

4 柘植駅



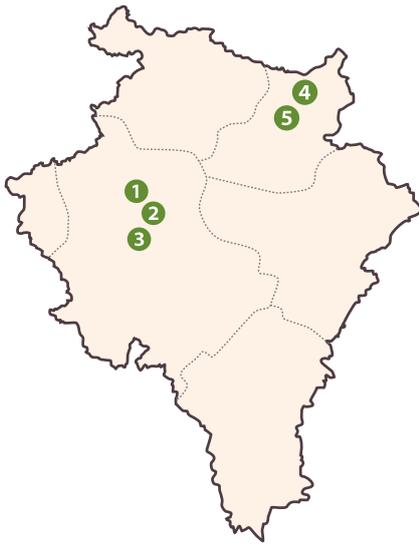
柘植駅は、1890(明治23)年に三重県初の鉄道駅として開設されました。現在のプラットホームの基壇やレンガ造りのランプ小屋は建設当時のものとされています。明治期の柘植駅では、自由民権運動で活躍した板垣退助が訪れるなど、伊賀の東の玄関口として栄えました。

5 旧柘植郵便局



柘植郵便局は、伊賀地域で最も早く設置された郵便局の一つです。明治中期に撮られた写真には、瀟洒な建物の正面に両開き扉があり、そのうえに「柘植郵便局」の看板が掲げられています。この看板は今も現存しています。

明治建築物地図



警察

江戸時代の武士に代わり明治以降に治安維持を担うようになったのが警察組織でした。伊賀地域に初めて警察組織が設置されたのが1872(明治5)年で、旧上野城の東大手門(現在のハイトピア伊賀周辺)に置かれました。この警察署は、昭和13年に新たな庁舎が建設されるに伴い払い下げられ、現在地に移転しました。

鉄道

明治時代の技術革新を象徴するのが鉄道です。1872(明治5)年に新橋―横浜間の鉄道が開通したのち、またたく間に鉄道網は全国に広がりました。伊賀地域における鉄道は、1890(明治23)年に関西鉄道柘植駅の開業に始まります。関西鉄道は、この年に三雲―四日市間が開通したのち、1897(明治30)年に柘植―加茂間が開通しました。

郵便

明治になり整えられた制度の一つに郵便制度があります。1871(明治4)年1月、太政官から「郵便創業の布告」が公布されました。伊賀地域では、明治5年4月に上野東町・柘植・佐那具などに郵便局が設置されたのち、伊賀全域へ郵便網が拡大されました。

【問い合わせ】

○広聴情報課

☎ 22・9636 FAX 22・9617

○文化財課

☎ 47・1285 FAX 47・1290

集団がん検診・若年者健診(後期分)

【対象者】 市内に住所がある人で、次の表の対象年齢に該当する人

※同一年度内に受けられる検診は各検診 1 回のみです。すでに今年度に市内で実施する集団がん検診または医療機関で個別がん検診を受診した人は受診できません。

※現在気になる症状がある場合は、医療機関を受診してください。

予約電話 ☎ 22-9653 平日の午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

※受付方法は電話予約のみです。市役所や保健センターへの来所・郵送・ファックス・Eメールでは受け付けることはできません。

※予約の受付開始日の朝は電話が集中してかかりにくくなることが予想されますが、しばらくしてからおかけ直してください。

※定員になり次第締め切ります。

※検診の安全性を確保し、精度を管理するため、問診票・検診結果は市が管理することに同意の上、受診してください。

※ 9 月 18 日(火)以降は、いがまち保健福祉センター・青山保健センターでも受け付けます。

申込時に次の項目をお聞きしますので、準備してからお電話ください。

- 希望検診日
- 希望検診名
- 住所 ○ 氏名
- 生年月日
- 電話番号



受付開始日	検診日時 (受付時間)	検診場所	胃がん	大腸がん	前立腺がん	子宮がん	乳がん (マンモグラフィ)	若年者健診
9 月 11 日(火)	10/14(日) 9:00～11:30	いがまち保健福祉センター	●	●	●	●	●	●
	11/1(木) 9:30～11:30 13:30～15:00	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	●
9 月 12 日(水)	11/17(土) 9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	
	11/24(土) 9:00～11:30 13:30～15:00	阿山保健福祉センター	●	●	●	●	●	●
9 月 13 日(木)	11/25(日) 9:00～11:30 13:30～15:00	青山保健センター	●	●	●	●	●	●
	12/9(日) 9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	
	平成 31 年 3/9(土) 9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	

《女性のための検診日》

受付開始日	検診日時 (受付時間)	検診場所	胃がん	大腸がん	前立腺がん	子宮がん	乳がん (超音波)	若年者健診
9 月 14 日(金)	10/22(月) 9:00～11:30 13:30～15:00	ハイトピア伊賀 4 階 ※午前のみ託児あり		●		●	●	
				●		●	●	

※超音波検査は、原則 30～39 歳の女性と妊娠中・授乳中・断乳後 1 年未満の人を対象としています。

※託児をご希望の人は、申込時に子ども的人数・年齢をお知らせください。

受付開始日	検診日時 (受付時間)	検診場所	胃がん	大腸がん	前立腺がん	子宮がん	乳がん (マンモグラフィ)	若年者健診
受付中	9/16(日) 9:30～11:30 13:30～15:00	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	●
	9/22(土) 9:00～11:30	大山田福祉センター	●	●	●	●	●	
	9/23(日・祝) 9:00～11:30	島ヶ原支所	●	●	●	●	●	

～子宮頸がん・乳がん無料受診券を使って受診しましょう～

対象者には、無料受診券を配布しました。(紛失した人は再発行できません。)

【子宮頸がん検診】対象者：平成 9 年 4 月 2 日～平成 10 年 4 月 1 日生まれの女性

【乳がん検診】対象者：昭和 52 年 4 月 2 日～昭和 53 年 4 月 1 日生まれの女性

《対象者・注意事項など》

検診名	対象者	自己負担金		内容・注意事項
		74歳以下	75歳以上	
胃がん検診	20歳以上の人 (平成11年4月1日以前に生まれた人)	1,800円	800円	バリウムを飲んで胃部レントゲン撮影をします。前日の午後10時以降は飲食しないでください。 ※胃の手術を受けた人や妊娠している人は受診できません。 ※むせやすい人や飲み込みにくい人は医療機関で受診してください。
大腸がん検診	20歳以上の人 (平成11年4月1日以前に生まれた人)	800円	500円	事前に容器をお渡ししますので、2日分の採便をしてお持ちください。 ※生理中の人は受診できません。
前立腺がん検診	50歳以上の男性 (昭和44年4月1日以前に生まれた人)	800円	500円	血液検査です。
子宮がん検診	20歳以上の女性 (平成11年4月1日以前に生まれた人)	1,400円	500円	子宮頸部細胞の採取と視診です。 ※生理中の人は受診できません。 ※子宮の手術を受けた人はかかりつけ医にご相談ください。
乳がん検診 ※年度内にどちらか1回	マンモグラフィ 30歳以上の女性 (平成元年4月1日以前に生まれた人)	1,600円	800円	乳がんの自己検診法の説明と乳房レントゲン撮影(マンモグラフィ)です。レントゲン撮影は、乳房をプラスチックの板で挟んで撮影する方法です。(多少の痛みを伴います。) ※妊娠中・授乳中・断乳後1年未満の人は受診できません。
	超音波 原則30～39歳の女性と妊娠中・授乳中・断乳後1年未満の人	1,600円	800円	乳がんの自己触診法の説明と乳房超音波(エコー)検査です。 ※妊娠中・授乳中・断乳後1年未満の人でも受診できますが、結果が「経過観察」となる可能性があります。
若年者健診	昭和54年4月1日～平成11年4月1日に生まれた人	3,400円		身体測定・尿検査・血圧測定・血液検査・心電図・診察などを行います。食事により血液データが変わることがあるので、できるだけ空腹でお越しください。

《次の人は自己負担金が表と異なります》

- 該当する人は予約時にお伝えいただくか、検診日に受付で証明できるものを提示してください。
- 65歳以上で一定の障がいがあり、後期高齢者医療被保険者証をお持ちの人：75歳以上の人の自己負担と同額
 - 生活保護受給証明書をお持ちの人：無料

【問い合わせ】 健康推進課 ☎ 22-9653 FAX 22-9666
 いがまち保健福祉センター ☎ 45-1016
 青山保健センター ☎ 52-2280



伊賀市国民健康保険 集団特定健康診査のお知らせ

《申込先・問い合わせ》 保険年金課 ☎ 22-9659

検診日時(受付時間)	検診場所	対象者	自己負担金	検診の内容・注意事項	持ち物
10/14(日) 9:00～11:30	いがまち保健福祉センター	40歳～74歳の伊賀市国民健康保険加入者	500円	身体測定、尿検査、血圧測定、血液検査、貧血検査、心電図、診察等を行います。できるだけ空腹で受診してください。(お水やお茶など糖分を含まないものは飲んでいただけます。)	○ 受診券 ○ 健康保険証
11/1(木) 9:30～11:30	ゆめぼりすセンター				
11/24(土) 9:00～11:30	阿山保健福祉センター				
11/25(日) 9:00～11:30	青山保健センター				

- ★事前申し込みが必要です。
 ★健診当日、集団健診用の質問票を記入していただきます。(受診券と同封の質問票は不要です。)
 ★受診券を紛失された人は再発行できます。
 ★すでに今年度に医療機関で伊賀市国民健康保険特定健診を受診した人は受診できません。また脳ドック・簡易人間ドックとの重複受診はできませんので注意してください。

「救急の日」「救急医療週間」をきっかけに

みんなで

救急医療を

考えまじょう



◆9月9日は「救急の日」
9月9日を含む1週間は「救急医療週間」です

救急医療と救急業務に対する正しい理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識を高めるため、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間（今年は9月9日(日)～15日(土)）を「救急医療週間」と定めています。

これらをきっかけに、救急医療や119番通報などの緊急時の対応を考えてみましょう。

◆救急医療の利用は
緊急時のみにしましょう

救急医療体制を維持するには、救急医療を適正にご利用いただくとい

【問い合わせ】 医療福祉政策課
消防本部消防救急課
☎22・9705 FAX22・9673
☎24・9116 FAX24・9111

市民の皆さん一人ひとりの協力が必要です。救急医療は、あくまで緊急事態に備えるため、限られた医療スタッフで診療を行っていますので、緊急時以外は通常の診療時間内の受診を心がけましょう。

まずは一次救急をご利用ください。一次救急とは、比較的軽症な病気やけがを対象としているもので、地域の診療所や伊賀市応急診療所のことをいいます。

◆電話相談窓口をご利用ください

救急車を呼ぶかどうか迷っている場合は、「伊賀市救急・健康相談ダイヤル24」、「みえ子ども医療ダイヤル」、「三重県救急医療情報センター」などの電話相談窓口を設けていますので、ぜひ利用してください。

伊賀市救急・健康相談ダイヤル24

☎ 0120-4199-22
〈24時間年中無休〉

病気やけがなどで救急車を呼ぶか迷っているときの相談をはじめ、健康づくりや健康管理、身体の症状の不安、妊娠・出産・育児、メンタルヘルス、家庭内介護など、心と体のさまざまな相談に看護師などの専門職が、24時間体制で応じます。

みえ子ども医療ダイヤル

☎ #8000
〈毎日 19:30 ~翌 8:00〉

子どもの急な病気や事故、薬に関することについて、医療関係の専門相談員が相談に応じます。

※ダイヤル式・光電話・IP電話などつながらない場合は、☎059-232-9955へおかけください。

三重県救急医療情報センターコールセンター

☎ 059-229-1199
〈24時間年中無休〉

救急車を呼ぶほどでもないが、けがや急病でどうしてもすぐに診察を受けたい場合に、受診可能な医療機関を案内します。

※案内を受けた医療機関には必ず電話をしてから受診してください。

【平成29年10月に電話番号が変更されましたので、ご注意ください。】

※コールセンターに電話がつながりにくい場合は、「医療ネットみえ」のホームページをご利用ください。

「医療ネットみえ」
<http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>



▶スマートフォン



▶携帯電話

緊急時には迷わず 119 番

消防本部から、普段の生活の中で次のような症状が見られる場合はためらわずに救急車を呼んでほしい症状を紹介します。

	大人	小児（15歳未満）
頭	<ul style="list-style-type: none"> ○突然の激しい頭痛 ○突然の高熱 ○支えなしで立てないくらいふらつく 	<ul style="list-style-type: none"> ○頭を痛がってけいれんがある ○頭を強くぶつけて出血が止まらない、意識がない、けいれんがある
顔	<ul style="list-style-type: none"> ○顔半分が動きにくい ○口や顔の片方がゆがむ ○ろれつがまわりにくい ○ものが突然二重に見える 	<ul style="list-style-type: none"> ○くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い
胸や背中	<ul style="list-style-type: none"> ○突然の胸痛 ○急な息切れ、呼吸困難 ○痛む場所が移動する 	<ul style="list-style-type: none"> ○激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い
腹	<ul style="list-style-type: none"> ○突然の激しい腹痛 ○持続する激しい腹痛 ○吐血や下血がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、食欲がなく、意識がはっきりしない ○激しいおなかの痛みで苦しがり嘔吐がとまらない
手足	<ul style="list-style-type: none"> ○突然のしびれ ○突然片方の腕や足に力が入らなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○手足が硬直している
意識障害	○返事がない、またはもうろうとしている	
けいれん	○けいれんが止まらない、止まっても意識が戻らない	

そのほかに、いつもと様子が違う場合や緊急時は迷わず 119 番してください。

救命の連鎖と市民の役割

命を救い、社会復帰に導くために必要な一連の行いを「救命の連鎖」といいます。特に最初の3つの輪は市民により行われることによって生存率や社会復帰率が高いことがわかっています。

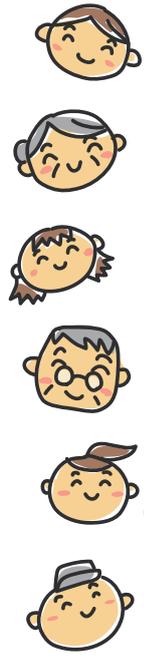


AED の設置場所

突然の心停止の原因で多い、心室細動。これに対する最も有効な治療は、除細動（電気ショック）です。AED（自動体外式除細動）による除細動は、誰でも実施することができます。大切な命を守るAED、いざという時のために、AEDの設置場所を、市ホームページまたは各地区市民センターに掲示しているAEDマップでご確認ください。

【問い合わせ】 消防本部消防救急課 ☎ 24-9116 FAX 24-9111

伊賀市市民活動支援センター



をぐこ存じですか？



伊賀市市民活動支援センター（以下「支援センター」）は、市民が主体となった住民自治活動やNPO活動、ボランティア活動などを支援するため、ゆめぼりすセンター内に設置されています。支援センターでは、市民活動に関する相談をはじめ、専門スタッフによるさまざまな事業を実施しています。

「市民活動」「NPO」って何？

「一人暮らしの高齢者を見守りたい」「地域の防災を強化したい」「古い街並みを保存したい」など「社会を何とかしたい」と思い、市民自らが活動することを「市民活動」といいます。営利を目的とせず、市民自らが不特定多数のもののために、さまざまなニーズに対応したサービスを提供し、社会的な課題を解決することを目的とした活動です。（宗教活動や政治活動を主な目的とする活動は除きます。）

「NPO」（Non Profit Organization）は、「民間非営利組織」と訳され、社会貢献性の高い非営利活動を行い、継続的、発展的に活動する組織のことをいいます。「NPO法人」はその中でNPO法に基づいた組織です。

伊賀市の市民活動団体はどんな活動をしているの？

2018（平成30）年3月末現在、支援センターに登録している市民活動団体は333団体（住民自治協議会・自治会・区などを除きます。）で、うち16団体がNPO法人です。

団体の規模は、構成員が50人以下の団体が大半を占めます。

活動分野は多岐にわたっており、特に「まちづくりの推進」、「健康・医療・福祉の増進」学術・文化・芸術・スポーツの振興」「子どもの健全育成」を活動目的とした団体が多いです。

支援センターではこんなことをしています！

支援センターは、主に次のような市民活動を促進する支援を行っています。

○情報収集・発信

市民活動を行っている団体や今後行おうとする団体などに必要な情報を提供するため、情報を収集し、いろいろな媒体で情報発信を行っています。

○総合窓口の開設

市民活動に関する総合的な窓口として専門スタッフを配置し、さまざまな相談に対し、助言、情報提供、他団体とのコーディネート、ボランティアの募集などを行っています。

○場所や機材の提供

会員・団体間の交流の場として「情報交流スペース」を開放し、専門図書や資料を設置しています。また、印刷機などを貸し出しています。

○人材育成

市民活動に携わる有能な人材を育成するため、各種研修・講座などを開催しています。



支援センターが設置されているゆめぼりすセンター

支援センターに登録すると、次のサービスを受けられます。

1. 情報発信ができます

団体が発行したチラシや情報紙を支援センターに設置し、支援センターのブログに掲載します。また、地区市民センターや公共施設にも配布します。活動団体をブログやフェイスブックで紹介できます。

2. 印刷機が使えます

支援センター内の印刷機を使うことができます。ほかに、垂れ幕や横断幕を作成できる大判印刷機や紙折り機もあります。

【料金（一枚につき）】

白黒片面／1円、カラー片面／10円
用紙代 A4／1円、A3・B4／2円
（用紙持ち込み可）

※大判印刷機の印刷料金は、お問い合わせください。



3. 情報交流スペース・メールボックス・ロッカーを使用できます（無料）

ボランティアや市民活動を始めたい人や団体は、まずは支援センターにご相談ください。

- 登録できるのは次の条件を満たす団体・個人です。（住民自治協議会・自治会・区等は登録不要です。）
- 市内で市民活動を行う団体・個人であること
- 市内に在住・在勤・在学している人で構成する団体であること

市民活動を始めた
いと考えている人、
現在活動されている
団体の人はぜひ気軽
に支援センターへお
越しください。



【開館時間】

午前9時～午後5時

※休館日 日曜日・年末年始（12月29日～1月3日）

※土曜日・祝日は総合窓口を開設していません。

【問い合わせ】 地域づくり推進課

☎ 22・96399 FAX 22・96554

◀情報交流スペースとメールボックス



▶印刷機

「NPO コト始め講座&伊賀市市民活動団体交流会」を開催します！

「NPOって何?」「ボランティアを始めたいけどどうしたらいい?」という初歩的な疑問にお答えする講座と現在活動しているNPO団体の皆さんの交流会を二部構成で開催します。市民活動初心者が活動経験者からいろんなお話を聞ける場です。ぜひご参加ください。交流会に参加する団体も募集中です。

【とき】 10月5日(金) 午後7時～9時

【ところ】 ゆめぼりすセンター 2階大会議室

【申込方法】 詳しくはお問い合わせいただくか、市民活動支援センター公式ブログをご確認ください。

【申込締切】 9月28日(金)

講師/進行: NPO法人 Mブリッジ 澤 卓哉さん

【申込先・問い合わせ】 伊賀市市民活動支援センター 伊賀市ゆめが丘1丁目1番地の4 (ゆめぼりすセンター内)

☎ 22-1511 FAX 22-0317 ✉igasksc@ict.ne.jp

ブログ: <http://blog.canpan.info/igasksc/>



◆ 46年ぶりに県内で国体の開催が決定しました

第76回国民体育大会「三重とこわか国体」

【問い合わせ】国体推進課

☎ 22-9681 FAX 22-9852

【開催期間】 2021年9月25日(土)～10月5日(火)

第76回国民体育大会が「活力に満ちた元気な三重」につながる大会となることをめざし、その願いを「いつも若々しいこと。いつまでも若いさま。」という意味の「とこわか」に託して、「三重とこわか国体」の愛称で開催されます。

伊賀市では、正式競技5競技とデモンストラেশionsポーツ2競技の開催が予定されています。

開催の正式決定を受け、8月27日(月)に開催した「第76回国民体育大会伊賀市準備委員会第3回総会」では、更なる開催準備の推進と事業を確実に実施するため、組織を「準備委員会」から「実行委員会」に改めました。今後、国体の成功に向けて、各種事業をより一層推進してまいりますので、市民の皆さんのご協力をお願いします。

伊賀市開催 正式競技《5競技》



サッカー
(女子)
上野運動公園競技場



軟式野球
(成年男子)
上野運動公園野球場



ハンドボール
(少年女子)
三重県立ゆめドーム
うえの



剣道
(全種別)
三重県立ゆめドームうえの



クレー射撃
(全種別)
三重県上野射撃場

伊賀市開催 デモンストラেশionsポーツ《2競技》



キンボールスポーツ
三重県立ゆめドームうえの



伊賀流手裏剣打スポーツ
上野公園特設会場

【問い合わせ】

三重とこわか国体伊賀市実行委員会事務局
(国体推進課内)

◆ あらゆる差別撤廃に向けて、伊賀市・名張市で開催されます

第52回三重県人権・同和教育研究大会

【問い合わせ】生涯学習課

☎ 22-9679 FAX 22-9692

部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けて、全ての子どもたちの未来を保障することをめざして、三重県人権・同和教育研究大会が開催されます。

【テーマ】 差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する「教育」を確立しよう。
(「教育」とは、差別撤廃・人権文化創造に向けた「研修」「啓発」「教育」の全てをさします。)

【とき・ところ】

○全体会 10月13日(土)

午後1時30分～4時45分
(受付：午後0時30分～)

三重県立ゆめドームうえの

○分科会・特別分科会 10月14日(日)

午前10時～午後4時30分
(受付：午前9時30分～)

分科会：伊賀市(8会場)名張市(9会場)
特別分科会：アドバンスコープADSホール

【参加資料代】 3,000円

※参加する場合は事前にご連絡ください。

【問い合わせ】 生涯学習課

(公社) 三重県人権教育研究協議会事務局
☎ 059-233-5530

◆対象となる人は申請してください

重度障がい者・重度障がい児福祉手当

【問い合わせ】障がい福祉課
☎ 22-9656 FAX 22-9662

○重度障がい者福祉手当

【対象者】 次のすべてに該当する人

- ① 20 歳以上の人
- ② 在宅で常時床についている状態または外出困難な状態
- ③ 家族などほかの人の介護を必要とする状態
- ④ 次のいずれかの手帳を持っている人
身体障害者手帳 1～3 級、療育手帳 A 1（最重度）・A 2（重度）・B 1（中度）、精神障害者保健福祉手帳 1 級

【支給額】 月額 3,000 円

※次のいずれかに該当するときは支給対象外

- ① 特別障害者手当・経過的福祉手当・寝たきり高齢者等福祉手当の受給資格がある人
- ② 病院や診療所などに 3 カ月以上継続して入院している人

【支給月】 年 2 回（4 月・10 月）

【支給方法】 本人からの請求により、本人の障がいの状態や介護の状況について審査のうえ支給します。

～状況届を提出してください～

現在、重度障がい者福祉手当を受給している人は、受給資格確認のため、状況届の提出が必要です。

必要書類を送りますので、必ず提出してください。期限までに提出がないと、引き続き手当を受けられなくなる場合があります。

【提出期限】 9 月 28 日(金)

○重度障がい児福祉手当

【対象者】 次のすべてに該当する人

- ① 3 歳以上 20 歳未満の人
- ② 次のいずれかの手帳を持っている児童の保護者
身体障害者手帳 1～3 級、療育手帳 A 1（最重度）・A 2（重度）・B 1（中度）、精神障害者保健福祉手帳 1 級

【支給額】 月額 5,000 円

※障害児福祉手当の受給資格があるときは支給対象外

【支給月】 年 2 回（4 月・10 月）

【支給方法】 保護者からの請求により支給します。

【問い合わせ】

- 障がい福祉課
- 各支所住民福祉課



◆明るく住みよいまちをつくるために

部落問題(差別)を正しく知ろう(第5回)

【問い合わせ】人権政策課
☎ 47-1286 FAX 47-1288

今回は、なぜ被差別部落の人たちへの差別が根強いものになったのかをお話します。

被差別部落の人たちは社会の外に置かれながらも、戦国時代に皮革生産の需要が高まったことから、各地で次第に社会の枠組みの中に取り込まれるようになりました。江戸時代になると幕藩体制の下、各藩の往来も活発に行われ、経済が発展していきました。それに伴い、皮革製造と併せて被差別部落の人たちが担っていた刑吏、警察、清掃などの役割は更に大きくなり、幕府にとって被差別部落の人たちは体制を維持するために必要な存在となりました。

しかし、これらの被差別部落の人たちの仕事は「社会外の人仕事」として伝統的な差別の上に成り立つものでした。このことから被差別部落の人たちを「差

別される人」として社会に組み込む必要があり、法体系の中で衣服の制限や立ち振る舞いなど日常におけるさまざまな差別的な法律が出されました。

このように差別を制度化し、民衆にも差別することを法的に義務付けて体制の維持を図ったため、更に差別が強化され広がっていきました。

差別の上に成り立つ制度や体制が存在して良いはずはありません。そのことに気づき、克服するために行動してきた先人たちがいたからこそ今の社会があります。しかしながら、現在も部落差別に苦しむ人は多くいます。

現代を生きる私たちは、この問題について、学び、知り、もう一度自分自身の中にある潜在的な差別意識と向き合うことが大切なのではないでしょうか。

◆かがり火に照らし出される幻想的な舞

第35回 上野城薪能

【問い合わせ】 観光戦略課
☎ 22-9670 FAX 22-9695

【とき】 9月22日(出) 午後6時～

【ところ】 伊賀上野城本丸広場特設舞台

※雨天の場合、上野西小学校体育館

【演目】

○大蔵流 狂言「^{かぎゅう}蝸牛」 茂山 宗彦さん

○観世流 能「^{こすでそが}小袖曽我」 武田 邦弘さん

※演目の解説チラシは、本庁舎玄関受付・観光戦略課・各支所振興課・伊賀上野城でお渡しします。

【募金のお願い】 上野城薪能は今年で35回目を迎え、毎年多くの観光客や地元の方々にお越しいただいておりますが、例年観覧無料で開催しているため、運営資金の状況が年々厳しくなっております。

実施委員会では、観阿弥生誕の地として市民や来場者と共に上野城薪能を継続して盛り上げていくため、薪能当日に協力金を来場者の皆様をお願いすることにいたしました。来年も薪能を開催するため、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

【問い合わせ】

上野城薪能実施委員会（観光戦略課内）

※土・日曜日、祝日、当日は、伊賀上野城（☎ 21-3148）へお問い合わせください。



◀大蔵流 狂言
「蝸牛」

▶観世流 能
「小袖曽我」



◆ルール違反をしたごみは収集できません

集積場でのごみ出しルール

【問い合わせ】 廃棄物対策課
☎ 20-1050 FAX 20-2575

集積場に出すことができるごみは、家庭から出るごみに限ります。店舗や会社などのごみは出せません。45ℓ袋に入らない大きなごみは「粗大ごみ」として有料での収集や直接持ち込みになります。

◆決められた時間までに出しましょう

○収集日とごみ出し時間は、各地区の「資源・ごみ収集カレンダー（青山地区は青山ごみ収集日程表）」でご確認ください。

○ごみの種類や量などにより収集時間が前後しますが、必ずごみを出す時間を守ってください。

◆決められた場所に出しましょう

○各自治会（集合住宅の場合は管理者）によって決められた集積場に出してください。

○集積場によって、独自のごみ出しルールを決めている場合があります。詳しくは自治会や住宅管理者などへお問い合わせください。

◆決められたものを出しましょう

○ごみの出し方は、各地区の「資源・ごみ収集カレンダー（青山地区は青山ごみ収集日程表）」や「資源・ごみ分別ガイドブック」でよく確認してください。

◆決められた方法で出しましょう

○可燃ごみは伊賀市指定ごみ袋（青山地区は燃やすご

みを青山区域指定ごみ袋）で出してください。

○袋出しの資源ごみは、45ℓ以下の中身が確認できる透明か白色半透明（青山地区は透明か黒色以外の半透明）のごみ袋で出してください。

○ごみ袋の口は必ずしばって出してください。

※ガムテープやひもなどで止めて出さないでください。

◆ルール違反をしたごみには警告シールを貼り、収集しません

再度分別をして次回の収集日に出し直すか、市の処理施設へ直接搬入するなど、ごみを出した人または各集積場管理者で責任を持って対応してください。

【集積場収集・処理に関する問い合わせ】

《上野・伊賀・島ヶ原・阿山・大山田支所管内》

●さくらリサイクルセンター

（集積場収集） ☎ 20-9170

（直接搬入） ☎ 20-9272

●伊賀・島ヶ原・阿山・大山田支所振興課

《青山支所管内》

●伊賀南部環境衛生組合 ☎ 53-1120

●青山支所振興課

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

お知らせ 9月20日～26日は動物愛護週間です

動物愛護週間は、動物を愛する気持ちと動物の正しい飼い方について、皆さんに関心と理解を深めてもらうための週間です。

病気になっても、年をとっても、家族の一員として最後まで愛情と責任を持ち、マナーを守って動物を飼うことは飼い主の義務です。

◆動物の習性などを正しく理解し、最後まで責任を持って飼いましょう

犬や猫は10年以上生きる動物です。最後まで責任を持って飼えるか、飼う前に正しい飼い方などの知識を持ち、家族みんなで考えましょう。

◆人に危害を加えたり、近隣に迷惑をかけないようにしましょう

「三重県動物の愛護及び管理に関する条例」で、犬の放し飼いは禁止されています。また、ふん尿などで近隣の生活環境を悪化させたり、鳴き声などで迷惑をかけないようにしましょう。

◆むやみに繁殖させないようにしましょう

動物にかけられる時間・空間には限りがあります。繁殖を希望しない場合は、不妊・去勢手術を受けさせましょう。

◆動物による感染症の知識を持ちましょう

動物の病気や感染症などの正しい知識を持ち、その予防に必要な注意を払いましょう。

◆飼い主を明らかにしましょう

迷子などを防ぐため、鑑札・マイクロチップなどの標識をつけましょう。

【問い合わせ】

市民生活課

☎ 22-9638 FAX 22-9641

今月の納税

●納期限 10月1日(月)

納期限内に納めましょう

国民健康保険税(3期)

※納税は便利な口座振替で

【問い合わせ】

収税課 ☎ 22-9612

お知らせ 青山保健センター運動施設の休館日・利用時間の変更

青山保健センター運動施設は、日頃の運動不足やストレス解消、メタボ対策、転倒予防の筋力アップなどのためにトレーニングルーム・フィットネスルーム・歩行用プールが利用できます。

◆10月から休館日・利用時間が次のとおり変わります

【休館日】 日・月曜日

12月29日～1月3日

【利用時間】

午前10時～午後5時

【平成30年度教室】

○介護予防転倒予防教室

火曜日

午前11時～正午

○アクアビクス

水曜日

午後0時30分～1時30分

○やさしいエアロ&ピラティス

木曜日

午後0時30分～1時30分

○太極拳

金曜日

午前11時15分～午後0時15分

※すべて定員25人で当日受付です。

※先着順

【使用料】

中学生以上18歳未満 250円

18歳以上65歳未満 500円

65歳以上 300円

身体障害者手帳等保持者 250円

市外使用者 800円

【問い合わせ】

○青山保健センター運動施設

☎ 52-4100

○青山支所住民福祉課

☎ 52-3232 FAX 52-2174

お知らせ 国民健康保険被保険者証をご確認ください

現在お持ちの被保険者証の有効期限は、9月30日です。10月1日から使える被保険者証は9月12日以降に順次、簡易書留郵便でお届けします。10月からは新しい被保険者証で診療を受けてください。

◆記載内容を確認してください

記載内容の誤りや被保険者証が届かない場合はご連絡ください。

◆有効期限を確認してください

有効期限は原則1年(保険証には平成31年9月30日までと記載)ですが、次の場合は期限が異なります。

①75歳になる人は、75歳になる誕生日の前日まで

②退職者医療被保険者の人は、65歳になる月の月末まで(1日生まれの人は前月末まで)

※退職被保険者の被扶養者は、退職被保険者本人か、被扶養者自身が65歳になる月のいずれか早いほうの月末まで(1日生まれの人は前月末まで)

◆期限切れの被保険者証について

期限切れの被保険者証は、保険年金課または各支所住民福祉課の担当窓口へ返却するか、破棄してください。

【配達に関する問い合わせ】

日本郵便(株) 上野郵便局

☎ 21-3232

※9月12日～27日の間に限る。

【問い合わせ】 保険年金課

☎ 22-9659 FAX 26-0151

お知らせ 住宅・土地統計調査

全国で住宅・土地統計調査が行われます。この調査は住宅・土地に関する最も基本的な調査で、調査結果は国や都道府県・市区町村が住生活基本計画やまちづくり施策などを立案するための大切な資料となります。9月半ば頃から10月半ば頃までの期間、対象となった世帯には県知事が任命した調査員が訪問しますので、調査票の記入をお願いします。

なお、調査内容は統計を作成するためのみに使用し、その他の目的には一切使用しません。

【問い合わせ】 総務課

☎ 22-9601 FAX 24-2440



「ヘルプマーク」を知っていますか?

援助や配慮を必要とする人が伝えやすく、支援ができる人が気づきやすくなる「おもいやりの絆」をつなげるマークです。

【問い合わせ】 障がい福祉課

☎ 22-9657 FAX 22-9662

お知らせ 未利用間伐材の搬出補助



森林管理を進めるため、みえ森と緑の県民税市町交付金事業で、未利用間伐材の収集運搬に対し補助金を交付します。

【補助金額】

搬出重量1トン当たり2,500円
※市内の一定条件を満たした場所への搬出に限ります。

【申請方法】 あらかじめ、「発電利用に供する木質バイオマス証明材取扱者」の登録を行った上で、申請期限までに、未利用間伐材の搬出重量を証明する書類、搬出状況の写真など必要な書類を郵送もしくは持参してください。

※詳しくは市ホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。

【申請期限】

4月1日～9月末日搬出分：10月9日(火)

7月1日～12月末日搬出分：1月7日(月)

10月1日～平成31年2月末日搬出分：平成31年3月7日(休)

【申請先・問い合わせ】

〒518-1395

伊賀市馬場1128番地

伊賀市産業振興部農林振興課

☎43-2301 FAX43-2313

催し 健康測定「丸之内はかり処」

～あなたの心理状態が見える化！
美しスマイルになるヒント～

働き世代の皆さん、仕事優先の生活になっていませんか。いつまでも元気に、若々しく過ごすには、まず自分の体を知ることが大切です。市ではテーマにあわせた健康測定「丸之内はかり処」を開催します。

【受付時間】 9月19日(水)

午後6時～7時30分
(時間内は出入り自由です。)

【ところ】

ハイトピア伊賀 4階多目的室

【内容】 上野病院臨床心理士による心理テスト、噛む力の測定 など

【対象者】 市内在住・在勤の人

【問い合わせ】 健康推進課

☎22-9653 FAX22-9666

お知らせ 寝たきり高齢者等福祉手当

【対象者】 ①と②に該当する人

①次のいずれかの状態が6カ月以上継続している人

○介護認定が要介護4または5

○自立した生活が困難な重度の認知症(日常生活自立度が「M」)

②月の1/3以上が在宅生活である人

※次に該当する人は対象外です。

○特別障害者手当、経過的福祉手当または重度障害者福祉手当の受給資格がある人

○病院や介護保険施設などに3カ月以上継続して入院または入所している人

【支給額】 月額3,000円

【支給月】 年2回(4月、10月)

申請方法など、詳しくはお問い合わせください。

現在、寝たきり高齢者等福祉手当を受給している人は、受給資格確認のために9月上旬に市から届く状況届を提出してください。

【提出期限】 9月25日(火)

【提出先・問い合わせ】

○介護高齢福祉課

☎22-9634 FAX26-3950

○各支所住民福祉課

お知らせ 洪水・土砂災害に備えましょう

人は、目の前に災害が迫っていても、「自分は被害にあわないだろう」という心理が働き、避難指示(緊急)が発令されても、すぐに避難行動を取らなかったり、周囲の様子を見て同じように行動しようとする傾向があります。ハザードマップの確認、気象情報や周囲の状況などに気を配り、早期に自ら命を守る避難行動ができるように、心掛けてください。

すでに浸水が始まっている屋外に安易に出ることはかえって危険なことがあります。

避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示が出された場合は、避難の準備をして、避難を開始してください。これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

【問い合わせ】 総合危機管理課

☎22-9640 FAX24-0444

伊賀市の人口・世帯数

(平成30年7月31日現在)

人口 92,404人

(男)45,249人

(女)47,155人

世帯数 40,200世帯



芭蕉翁記念館 だより

秋といえば中秋の名月の季節です。芭蕉さんもお月見を楽しみにしていたようで、『更科紀行』の旅はこれを目的に行われたと考えられています。芭蕉さんはこの旅を通して次のような俳句を詠みました。

おもかげ おぼ
弟や姨ひとりなく月の友

この句を詠んだとされる姨捨山には、老婆をこの山に捨てたとする「姨捨伝説」が残っており、古典作品でも取り上げられるほど有名です。「月を見ていると、姨捨伝説に登場する姨が泣く姿が思い浮かぶ。」と芭蕉さんは詠みました。

【夏の企画展】(開催中)

9月19日(水)まで

【秋の特別展】(予告)

9月22日(土)～12月27日(休)

【問い合わせ】

文化交流課

☎22-9621 FAX22-9619

芭蕉翁記念館

☎21-2219 FAX22-9619

献血のご案内

●9月18日(火)

午後1時～4時

阿山保健福祉センター

【問い合わせ】

健康推進課

☎22-9653

FAX22-9666



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

催し 脳健康チェック

脳健康について関心を持って、心配な物忘れを早期に発見し、予防に努めていただくため脳健康チェックを行います。

【とき】 9月28日(金)

午前10時～11時30分

※10月以降毎月原則第4金曜日(11月のみ第5金曜)に行います。

【ところ】

ハイトピア伊賀 4階相談室

【内容】 タッチパネル式認知症スクリーニング機器(物忘れ相談プログラム)による物忘れチェックを行います。

【問い合わせ】

地域包括支援センター

☎ 26-1521 FAX 24-7511

催し 平和の祈り千羽鶴事業

昨年度に続き、市民の皆さん一人ひとりの平和への祈りを込めた千羽鶴を折り、広島へ送ります。

ロビーに折り紙と折り鶴の折り方の説明書を用意していますので、ご自由に参加してください。

【とき】

平成31年2月28日(木)まで

午前8時30分～午後5時15分

※土・日曜日、祝日、年末年始を除く。

【ところ】

青山公民館 1階ロビー

【問い合わせ】 青山公民館

☎ 52-1110 FAX 52-1211

催し 認知症の人と家族の会「伊賀地域つどい・交流会」

認知症の人を介護する家族の情報交換の場です。

【とき】 9月25日(火)

午後1時30分～4時

【ところ】

名張市武道交流館いきいき(名張市蔵持町里2928番地)

【料金】 200円(認知症の人は無料。家族の会会員は100円)

※認知症の人が参加する場合は、事前に連絡してください。

【問い合わせ】 地域包括支援センター南部サテライト

☎ 52-2715 FAX 52-2281

催し 国際交流フェスタ2018

～広がり市民と世界をつなげる
友好の輪～

【とき】 10月7日(日)

午前10時～午後3時

※小雨決行

【ところ】

とれたて市ひぞっこ前駐車場(平野西町1番地の1)

【内容】 世界の音楽に触れながら国際交流を体験してみませんか。外国の料理が食べられる屋台やスタンブラリー、伊賀の産品が当たるお楽しみ抽選会もあります。ぜひ、お越しください。

【問い合わせ】

○伊賀市国際交流協会

☎ 22-9629 FAX 22-9631

○市民生活課

☎ 22-9702 FAX 22-9641

催し 寺田市民館「じんけん」パネル展

【とき】

①9月3日(月)～27日(木)

②10月1日(月)～30日(火)

午前8時30分～午後5時

※土・日曜日、祝日を除く。

【ところ】

①寺田教育集会所 第1学習室

②大山田農村環境改善センター 1階ロビー

【内容】 「差別と文化」

被差別の立場にあった人たちによって作られ、支えられてきた文化について紹介するパネル展です。

【問い合わせ】

①寺田市民館 ☎/FAX 23-8728

②人権政策課

☎ 47-1286 FAX 47-1288

催し いがまち人権パネル展

【とき】 9月4日(火)～27日(木)

午前9時～午後5時

※土・日曜日、祝日を除く。

※9月6日(木)・13日(木)は午後7時30分まで延長して開館します。

【ところ】 いがまち人権センター

【内容】 「NO!パワハラ」

【問い合わせ】 いがまち人権センター

☎ 45-4482 FAX 45-9130

催し 県立美術館友の会セミナー

三重県立美術館では、10月27日(土)から12月16日(日)まで、「川端康成と横光利一展」を開催します。

大正から昭和前半にかけて活躍し、「文学の神様」と仰がれた三重ゆかりの文豪、横光利一と、その生涯を通じて最大の親友であったノーベル賞作家、川端康成。新しい表現をめざした若きモダニズムの時代から日本的な精神や美へと向かう成熟の時代まで、2人の活動や交流を、関連する美術についての話も交えながらご紹介いたします。

【とき】 11月10日(土)

午後1時30分～3時

【ところ】 ハイトピア伊賀

4階ミーティングルーム

【内容】

○演題: 「川端康成と横光利一 美術との関わりから」

○講師: 三重県立美術館長 速水豊さん

【問い合わせ】 文化交流課

☎ 22-9621 FAX 22-9619

催し 平和の集い

戦没者を追悼するとともに、高校生による取り組みの発表や資料の展示を通して平和への願いを次世代へ伝えます。

【とき】 9月22日(土)

第1部 午後1時30分～

第2部 午後2時45分～

【ところ】

伊賀市文化会館 さまざまホール

【内容】

○第1部 戦没者追悼式

○第2部 未来につなげよう 平和への願い

伊賀市非核平和推進中学生広島派遣団による報告

高校生による取組発表 など

【問い合わせ】

○医療福祉政策課

☎ 26-3940

FAX 22-9673

○人権政策課

☎ 47-1286

FAX 47-1288



募集 ボールゲームフェスタ in 伊賀

【と き】 10月13日(出)

- ①ボールで遊ぼう！
午前9時～11時30分
(受付：午前8時30分～)
- ②キッズチャレンジ
午後1時～4時30分
(受付：午後0時30分～)

【ところ】 島ヶ原小学校体育館・
島ヶ原中学校体育館

【内容】

- ①親子でさまざまなボールを使った「あそび」を行い、楽しく運動能力をアップします。
- ②フットサル・バレーボール・バスケットボール・ハンドボールを、それぞれの一流選手や指導者が楽しく教えます。

【スペシャルゲスト】

松本 弥生さん
(競泳元日本代表、リオオリンピック400m自由形リレー8位入賞)

【対象者】

- ①市内在住か在学の小学校1～3年生と保護者
- ②市内在住か在学の小学校4～6年生

【持ち物】

体育館シューズ

【定員】

- ①60組120人
※先着順(要事前申込み)
- ②100人 ※先着順(要事前申込み)

【申込方法】

小学校で配布のほか、スポーツ振興課と各支所振興課(上野支所を除く。)にある申込書に必要事項を記入のうえ、持参かファックスでお申し込みください。

市ホームページからもダウンロードできます。

【申込受付開始日時】

9月10日(月) 午前9時～

【申込先・問い合わせ】

伊賀市上野中町2976番地の1
上野ふれあいプラザ 2階
スポーツ振興課
☎22-9635 FAX22-9852



募集 危険物取扱者試験・ 予備講習会

◆危険物取扱者試験

【と き】 11月17日(出)

- 乙種4類：午前10時～正午・
午後1時30分～3時30分
- 丙種：午前10時～11時15分

【ところ】

伊賀市勤労者福祉会館
(上野丸之内182番地の3)

【申込方法】

- ①消防本部・各消防署・各分署にある願書に必要事項を記入の上、郵送してください。
- ②(一財)消防試験研究センターのホームページ(www.shouboshiken.or.jp/branch/23mie/index.html)から電子申請してください。

※詳しくは願書をご覧ください。

【申込期間】

- ①郵送：9月11日(火)～21日(金)
- ②電子申請：9月8日(出)午前9時～18日(火)午後5時

【申込先・問い合わせ】

(一財)消防試験研究センター三重県支部 ☎059-226-8930

◆危険物取扱者試験予備講習会

【と き】 10月26日(金)

【ところ】 消防本部 3階研修室

【対象者】 乙種4類受験者

【料 金】 1,000円
(防火協会員は無料です。)

【定 員】 80人 ※先着順

【申込方法】 消防本部予防課までお越しください。

【申込期間】

9月18日(火)～10月5日(金)
平日の午前8時30分から午後5時まで

【申込先・問い合わせ】

伊賀市緑ヶ丘東町920番地
消防本部予防課
☎24-9103 FAX24-9111

ご意見をお聞かせください

広報いが市・行政情報番組(ウィークリー伊賀市・文字放送)について、ご意見・ご要望をお聞かせください。

【問い合わせ】 広聴情報課
☎22-9636 FAX22-9617

催し 屋下がりのミニコンサート



合唱・管楽器・
リコーダーなど
によるミニコンサートを開催します。地域で活躍されているグループが出演します。日曜日の屋下がりに素敵な音楽を聞いてみませんか。気軽にお越しください。

【と き】 9月9日・30日、10月21日 ※すべて日曜日
午後2時～(30分程度)

【ところ】 大山田公民館 研修室

【問い合わせ】 大山田公民館
☎46-0130 FAX46-0131

募集 親子で歩こう！着物を体験 しよう！天神祭2018

着物でいごうえの語り部の会会員のお話を聞きながら、親子で歩いて上野天神祭を見学します。

【と き】 10月20日(出)

午前9時～午後0時30分

【ところ】 栄楽館周辺

集合：ハイトピア伊賀 4階ミーティングルーム

【対象者】 親子(市内の4年生以上の小学生とその保護者)

【持ち物】 水筒、筆記用具、短パン・半袖Tシャツ

※着物、帯、足袋、草履、小物類は無料で貸し出しますが、小学生で着物一式、草履などがある場合は持参してください。

※親は着物に着替えません。

【定 員】 親子10組

※申込者多数の場合は抽選となります。抽選結果は郵送します。

【申込方法】 住所・氏名・子どもの学年・身長・連絡先を電話でお伝えいただくか、申込書に記入の上、ファックス・持参のいずれかで申し込んでください。

【申込期間】 9月4日(火)～18日(火)
午前9時～午後5時

【申込先・問い合わせ】

伊賀市上野丸之内500番地
ハイトピア伊賀 5階生涯学習課
☎22-9637 FAX22-9692

※土・日曜日・祝日は電話22-9801へお問い合わせください。

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

募集 防衛大学生

◆防衛大学校学生

【申込期間】 9月5日(水)～28日(金)
※締切日必着

【試験日】

○1次試験 11月3日(出)・4日(日)

◆防衛医科大学校医学科学生

【申込期間】 9月5日(水)～28日(金)
※締切日必着

【試験日】

○1次試験
10月27日(出)～28日(日)

◆防衛医科大学校看護学科学学生 (自衛官候補看護学生)

【申込期間】 9月5日(水)～28日(金)
※締切日必着

【試験日】

○1次試験 10月20日(出)
※詳しくはお問い合わせください。

【申込先・問い合わせ】

自衛隊伊賀地域事務所
☎ 0595-21-6720

【担当課】 総務課

募集 自動販売機設置事業者

市の施設に自動販売機を設置する事業者の一般競争入札を行い、公有財産の有効活用を図ります。

【対象施設】 市役所新庁舎
(四十九町 3184 番地)

【設置期間】

平成31年1月4日から3カ月間
(最長5年3カ月間)

【入札予定日】 10月16日(火)

詳しくは、お問い合わせいただくか、市ホームページに掲載の実施要領などをご覧いただき、参加要件や設置に関する条件などをご確認ください。

【問い合わせ】 管財課

☎ 22-9610 FAX 24-2440

広報いが市PDF版

広報いが市PDF版を市ホームページでご覧いただけます。
<http://www.city.iga.lg.jp/>
※携帯電話のバーコードリーダー機能で読み込んでアクセスできます。

2次元コード ▶ 

【問い合わせ】 広聴情報課
☎ 22-9636 FAX 22-9617

募集 臨床工学技士

【募集人数】 若干名

【応募資格】 昭和44年4月2日以降生まれで、臨床工学技士免許を持っている人または平成31年3月末までに取得見込の人

【勤務条件】 市の条例・規則に定めるところによります。

【休暇制度】 年次有給休暇、特別休暇(結婚・産前産後・子の看護・忌引・ボランティアなど)、病気休暇、介護休暇など

※育児休業制度、部分休業制度も整備しています。

※託児所がありますので、子どもがいる人も安心して勤務できます。

【勤務場所】 上野総合市民病院

【賃金】

給与は市の条例・規則に定めるところによります。

※当該職種の前歴に応じた加算措置や諸手当があります。

【応募方法】 病院総務課にある「平成30年度伊賀市職員選考採用試験受験申込書」(1通)を持参または郵送で提出してください。申込書は市ホームページからもダウンロードできます。

【選考方法】 作文・面接

【試験日】 11月2日(金)

※時間などは応募した人に後日お知らせします。

【採用予定日】

平成31年4月1日(出)

【応募期限】 10月19日(金)

午後5時15分

※郵送の場合は必着、簡易書留で送付してください。

【申込先・問い合わせ】

〒518-0823
伊賀市四十九町 831 番地
伊賀市立上野総合市民病院
事務部病院総務課
☎ 24-1111 FAX 24-1565

「広報いが市」の点字版・録音版を発行しています

希望される場合はお問い合わせください。

【問い合わせ】 障がい福祉課

☎ 22-9657 FAX 22-9662

募集 上野天神祭 クラウドファンディング

今年の上野天神祭ダンジリ行事は、10月19日(金)～10月21日(日)に開催します。

しかし、祭の担い手不足に加えて来場者の安全を守るための費用は年々増加し、厳しい運営が続いています。

400年続く上野天神祭の歴史を、未来の子どもたちに継承していくために、ぜひ皆さんの力を貸してください。

【募集期限】 10月16日(火)

午後11時まで
※インターネットを通じて出資するシステムです。[<https://readyfor.jp/project/iga-tenjin>] で検索してください。



▶二次元コード

※インターネット以外の方法では、実行委員会で振込の代行をしています。詳しくはお問い合わせください。

【目標金額】 100万円

※期間内に目標金額に達しない場合、支援金は支援者様へ返還されます。

【目的】

平成30年上野天神祭ダンジリ行事に係る運営費

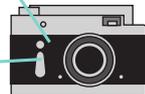
【出資額】

5,000円～
金額に応じて、伊賀の産品や上野天神祭特別観覧チケットをお届けします。

【問い合わせ】

○上野天神祭地域振興実行委員会
(上野商工会議所内)
☎ 21-0527
○文化交流課
☎ 22-9621 FAX 22-9619





こどもアナウンサーが取材しました

夏休み特別企画として、行政情報番組「ウィークリー伊賀市」に出演するこどもアナウンサーを募集しました。今回は5人の小学生がこどもアナウンサーとして市内のイベント取材し、その様子を番組内でお伝えしました。まちかど通信ではこどもアナウンサーが取材したイベントの様子をお届けします。



▲茶の湯体験を楽しみました。



日本の文化を体験しました

日独スポーツ少年団同時交流事業（7月29日）

7月26日から30日まで、ドイツからスポーツ少年団員10人が伊賀市を訪れ、交流事業を行いました。芭蕉翁記念館で学芸員から展示物や俳句の作り方などの説明を受けたほか、偲翁舎で茶の湯体験をし、日本の伝統文化に触れる一日となりました。

◀外国の人は日本のさまざまな文化に興味を持っていて、たくさん質問をしたり色々なものを写真に撮ったりしていました。茶の湯体験ではリラックスしてお菓子や抹茶を味わい、思い切り日本を楽しんでいました。
(こどもアナウンサー 松本 智直)

市長も電車で通勤

公共交通機関利用促進 PR（7月31日）

公共交通機関の維持・活性化や渋滞解消、二酸化炭素の排出削減、個人の健康増進などを目的に毎年7月1日から9月30日までを公共交通機関利用促進期間としています。

今年度は期間中の8月を強化月間と位置づけ、強化月間に先駆けて岡本市長と大森副市長が公共交通機関を利用してPRしました。

▶公共交通機関の利用を呼びかける取材ということで、岡本市長と一緒に電車に乗ったり友達のように話すことができ、とても嬉しかったです。
(こどもアナウンサー 坂元 龍弥)



◀伊賀鉄道で通勤する市長





22・9636

【問い合わせ】 広聴情報課

【申込期限】 発行日2カ月前

【掲載料】 1枠・2万円
(縦5cm×横9cm)

【発行部数】 毎号約36,000部

【掲載期間】 1枠・2万円

有料広告を募集します

広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は市内の各戸へ配布するほか、ホームページにも掲載します。

土地・建物がなくともオーナーになれる!セブン-イレブンのフランチャイズ

セブン-イレブン

お気軽に お問い合わせ ください。

ハイピア伊賀・名張産業振興センターにて オーナー 希望者向け説明会開催

<p>ハイピア伊賀 伊賀市上野丸之内500番</p> <p>伊賀鉄道「上野丸之内」徒歩1分</p> <p>P 駐車場 有料駐車場有り</p>	<p>名張産業振興センター (アスパ) 名張市南町822-2</p> <p>近鉄「名張駅」徒歩14分</p> <p>P 駐車場 無料駐車場有り</p>
<p>視聴覚室 9/12 水 19:00~21:30</p> <p>視聴覚室 9/29 土 9:30~12:00</p>	<p>会議室C 9/8 土 13:30~16:00</p> <p>会議室C 9/21 金 19:00~21:30</p>

[加盟店オーナー募集お問合せセンター] 受付時間 全日10:00~21:00(12/31~1/3を除く)

0120-711-413

セブン-イレブン ヨイミセ

セブン オーナー 検索

http://www.sej.co.jp/owner

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など



◀慎重に紙をすきました。

楽しく体験したよ

夏休み大山田公民館教室 (8月4日)

大山田公民館で紙すき体験を行いました。これは牛乳パックをリサイクルしてはがきを作る体験です。牛乳パックを細かくちぎり、水と混ぜた液体からはがき大の木の枠を使って紙をすきます。

そして、木の枠を外して水を切り、花の形などの色紙で模様をつけ、最後にアイロンで水分をとばすと、はがきが完成しました。



◀ミキサーで牛乳パックと水を混ぜるとき、みんなで数をかぞえながらして楽しんでいました。難しいところもあったと思いますが、みんな一生懸命取り組んでいました。

(こどもアナウンサー 藤堂 心奈)

医療現場の仕事を体験しました

オープンホスピタル 病院で働こう！(8月5日)

上野総合市民病院で、医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師など9部門の医療現場を模擬体験するイベントを開きました。この日は、193人が参加し、市民病院に勤めている職員の話の聞いたり、実際に使われている器具に触れるなどし、病院の仕事について理解を深めました。

▶採血の体験では参加者は腕の模型に慎重に針をさしていたり、エコーの体験では、モニターを真剣に見ていたところが印象的でした。

(こどもアナウンサー 菊地 泰河)



▲採血の体験をしている様子



◀力を合わせて輪くぐりに挑戦しました。

力いっぱい頑張りました

第14回伊賀市スポーツ少年大会(8月5日)

県立ゆめドームうえのなどで、市のスポーツ少年団員や指導者がお互いの親睦と友情を深め、団活動の活性化を図るため第14回伊賀市スポーツ少年大会が開かれました。

5つの体力テストと、チームで協力しあう団体戦を行い、子どもたちは真剣な表情で取り組んでいました。

◀輪くぐりの種目では次の人が輪に入るのが難しそうでしたが、みんなが楽しそうに頑張っているなと思いました。

(こどもアナウンサー 田中 佑樹)



図書館の司書募集

【問い合わせ】人事課

☎ 22-9605 FAX 22-9616



【募集職種・人数】 司書 1人

【学歴・資格等】 図書館法に基づく司書資格および博物館法に基づく学芸員資格を有する人で、平成31年3月末日時点で司書として5年以上の実務経験を有する人

※学芸員資格は平成31年3月末日取得見込も可

【年齢】 昭和43年4月2日以降に生まれた人

【試験日】 10月28日(日)

【試験会場】 ハイトピア伊賀

【試験内容】 基礎能力検査・専門試験・適性検査

【応募期間】 9月3日(月)～10月1日(月)

午前8時30分～午後5時15分

※土・日曜日、祝日を除く。

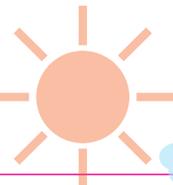
※申し込む際は、必ず募集要項をご確認ください。募集要項は、人事課・各支所振興課にあるほか、市ホームページに掲載しています。

【応募先・問い合わせ】

〒518-0869 伊賀市上野中町 2976 番地の1
上野ふれあいプラザ 2階

伊賀市総務部人事課

本紙 18 ページの
「洪水・土砂災害」について
わかりやすく解説します。



こども広場
「災害に備えよう」

小・中学生のための「ヒント」です

①家の外に絶対出ない
台風が近づいたり、雨が強くなったりしてから、外を歩くのはとても危険です。窓や雨戸をしっかり閉めよう。

※ハザードマップ
台風や大雨、地震の時に、土砂くずれや川のはん濫が予想される危ない場所、避難場所などが地図に書かれています。

【台風が近づいたら】

②避難する場所を確認しよう
家の人どこに避難するか話し合ってから決めておこう。バラバラになった時の連絡先などを確認しておこう。

③非常食を準備しよう
停電や避難に備えて、非常食は5日分を目安に準備しておこう。

【ハザードマップを確認しよう】
ハザードマップで、自分の家や学校の通学路で危ない場所がないか確認しておこう。

9月1日は「防災の日」です。災害に備えて注意することや、被害を小さくするにはどうすればいいのか考えてみよう。

【台風が来る前に】

①ハザードマップを確認しよう

【問い合わせ】
総合危機管理課
☎ 22・9640
FAX 24・0444

②情報を集めよう
テレビなどで気象情報や避難情報を確認しよう。ハザードマップで危ない場所に住んでいる人は、いつでも避難できるように準備をし、市役所から避難する指示が出た時はすぐに避難しよう。もし自分の近くに、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人など、避難するのに時間がかかったり、情報が伝わりにくい人がいたら、声をかけ合って避難しよう。

【避難するとき】
川の近くや土砂くずれが起こりそうな危ない場所には絶対に近づかないようにしましょう。ガラスや石が足をケガをしないように、運動靴など脱げにくいものをはいて、両手が使えるように荷物はリュックなどに入れて、手袋やヘルメットを着用しよう。

災害が起こった時、落ち着いて行動できるように、普段からどうすればいいか考えておこう。



伊賀警察署だより



防災対策

今年の6月に発生した大阪北部地震や7月に発生した西日本における豪雨災害は各地に甚大な被害をもたらしました。

伊賀市においても、地震や大雨による土砂災害、河川の氾濫などが発生するおそれがあります。

災害に備え、非常持ち出し袋を準備しておきましょう。非常持ち出し袋には5日分を目安として、

- 飲料水や非常用食品
- 救急医療薬品や常備薬
- 情報収集を図るための携帯ラジオ
- 現金や衣類

などを入れ、すぐに持ち出せるように置き場所を決めましょう。

災害は突然やってくるものであり、発生を防ぐことはできません。一人一人が高い防災意識を持ち、日頃から準備をしておきましょう。

【問い合わせ】

伊賀警察署 ☎ 21-0110
名張警察署 ☎ 62-0110

公共交通を利用しましょう

関西本線で行こう!!

木津～亀山スタンプラリー開催

関西本線木津亀山間活性化同盟会では、歴史とロマンあふれる見どころいっぱい JR 関西本線、草津線（貴生川～柘植間）を巡るスタンプラリーを開催します。



応募用紙に木津～佐那具間で1つ、新堂～亀山間または貴生川～柘植間で1つ、合計2つの駅スタンプを押して応募すると、抽選で関西本線沿線の特産品が当たります。応募用紙は各駅に設置します。この機会に、関西本線や草津線に乗車し、沿線の魅力を再発見してみたいかがでしょうか。

【とき】 9月15日(出)～12月16日(日)

※応募締切は12月17日(月)消印有効

【問い合わせ】

交通政策課
☎ 22-9663
FAX 22-9852

7・8・9月
公共交通機関利用促進期間
～未来へ残そう 公共交通～

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

識字学級の思い ーいがまち人権センターー

被差別部落には、差別による貧困などの理由によって義務教育でさえ受ける機会を得られなかった人たちがいます。「私は字が読めんで新聞はいらん。手紙もその場で封を切って、わたしに読んでくれ。」このような声があり、もう一度文字を習いなおしたいという思いの人が集まり、国際識字年の1990年に始まったのが「識字学級」です。

識字学級では、学級生と講師が一对一で学習に取り組んでいます。その取り組みを通して学級生から被差別体験や、差別をはねのけた経験を直接聞くことで、講師にとっても部落差別の現実を知ることができるなど、共に学ぶ場となっています。

ある学級生は識字学級に来るまで自分の名前も住所も書けませんでした。この学級で文字を学び、初めて年賀状を書いたときに、元日にわざわざあて先である仲間の学級生の家まで行って「はがき着いたか？」とたずね、自分の文字で書いた年賀

状が届いていたことに二人で涙ながらに喜びあったそうです。

識字学級はただ文字を学ぶだけの活動をする場所ではなく、差別を見抜き、差別に立ち向かうことで、当たり前前の生活や幸せを取り戻す場所でもあります。

今、識字学級に通っている学級生は20数年の学びを経て、普段の生活で文字の読み書きに困ることはありません。現在は字を学ぶ活動とともに、これまで積み上げてきた「識字学級の思い」を引き継ぎ、識字の灯を絶やさないために、学ぶことの大切さや反差別の思いを、人権学習に取り組む子どもたちに向けて、話をする活動を続けています。

私たちはこの取り組みから反差別の思いを学び、子どもたちが二度と差別によって不利益を受けることがないように、部落差別をなくすための活動を進めなければいけません。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 47-1286 FAX 47-1288 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ

図書館 だより



《問い合わせ》

上野図書館 ☎ 21-6868 FAX 21-8999
 いがまち図書室 (いがまち公民館内) ☎ 45-9122
 島ヶ原図書室 (島ヶ原会館内) ☎ 59-2291
 阿山図書室 (あやま文化センター内) ☎ 43-0154
 大山田図書室 (大山田公民館内) ☎ 47-1175
 青山図書室 (青山公民館内) ☎ 52-1110

今月の新着図書

☑一般書

『心理学でわかるひとの性格・感情辞典』
 渋谷 昌三／監修
 罪悪感、怒り、几帳面、傷つきやすい、正直…など、
 人の性格・感情を 272 種類に分類。心理学に基づいた
 解説・応用法とともに、今の対人関係や日々の悩みを
 ラクにしてくれる一冊です。

☑絵本

『飛ぶワニ』
 やなせ たかし／著
 空から落ちてきた大きな卵から生まれたワニ。湖
 でのんびり暮らしていましたが、ある日変なおじ
 いさんが湖に落ちてきて…?! やなせたかしさんの
 1965 年刊行作品の復刻版。

■一般書

『自宅で花嫁のすすめ』 三澤 武彦／著
 『幕末列藩 & 人物名鑑』 NHK 出版歴史ドラマがさらに面白くなる本! 大石 学／監修
 『おうちで作れるカフェの朝食』 山村 光春／監修

■児童書

『人の心に木を植える』
 畠山 重篤／著、スギヤマ カナヨ／絵
 『翻訳ってなんだろう?』 鴻巣 友季子／著
 『たかが犬、なんて言わないで』 リブ・フロード／作

■絵本

『れいぞうこからとーって!』 竹与井 かこ／著
 『ぼんやきゅう』 指田 和／文、長谷川 義史／絵
 『どろんばあ おばけかぞえうた』
 小野寺 悦子／文、植垣 歩子／絵

図書館(室)からのお知らせ

9月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。(30分～1時間程度)

とき	ところ	催物(読み手)
8日(土)	10:30～ 大山田図書室	おはなしたいむ(きらきら)
	10:30～ 上野図書館	おはなしの会
11日(火)	14:30～ 島ヶ原老人福祉センター清流	読み聞かせ会(ネェよんで)
12日(水)	10:30～ いがまち図書室	ミニサロンひまわり
	15:00～ 青山図書室	おとなカフェ
16日(日)	10:30～ 阿山図書室	読み聞かせの会(はあと&はあと)
19日(水)	10:30～ 上野図書館	えほんの森
21日(金)	10:00～ いがまち図書室	絵本の時間(お話の国アリス)
22日(土)	10:00～ いがまち図書室	読み聞かせ会(ぶらんこ)
	10:30～ 上野図書館	おはなしの会
26日(水)	11:00～ 青山図書室	おはなしなあに?
	10:30～ 上野図書館	おひざでだっこのおはなし会
28日(金)	10:30～ 上野図書館	絵本と音のカーニバル(Twinkle)
10月3日(水)	10:30～ 青山子育て支援センター	あかちゃん こんにちは(だっこ)

今月の「郷土の歴史夜咄会」

【とき】9月21日(金)

午後6時～7時30分

【ところ】上野図書館 2階視聴覚室

【テーマ】『公年譜略』 編輯者・喜田村矩常

♪秋は読書の季節です♪

図書館でお気に入りの本を見つけて読書の秋を満喫しませんか。

今月の上野図書館特集コーナーは、「明治維新150周年・幕末～明治を舞台にした本」を揃えました。毎月テーマを変えて特集コーナーを設置しています。図書館ホームページからは特集リストを見ることもできます。過去の特集リストもありますので、読書の参考にしてくださいね。



9月の二次救急実施病院

◎各病院の受け入れ体制

日	月	火	水	木	金	土
*小児科以外の診療科です。						1 名張
2 名張	3 岡波	4 名張	5 岡波・名張	6 名張	7 上野	8 上野
9 岡波	10 岡波	11 上野	12 岡波・名張	13 名張	14 上野	15 名張
16 名張	17 岡波	18 名張	19 岡波・名張	20 名張	21 上野	22 上野
23 岡波	24 岡波	25 上野	26 岡波・名張	27 名張	28 上野	29 上野
30 名張	※重症者が重なり、診察できない場合があります。また、非当番日は救急の受け入れを行いません。 ※二次救急(重症)の人が対象です。					

《実施時間帯》 平日：午後5時～翌日午前8時45分
土・日・祝日：午前8時45分～翌日午前8時45分

《実施時間帯(岡波総合病院)》

月曜日：午後5時～翌日午前9時 水曜日：午後5時～翌日午前8時45分
日曜日：午前9時～翌日午前8時45分
※月・水曜日が祝日の場合、午前9時～翌日午前8時45分

救急車での搬送限定ではありませんが、必ず事前に連絡が必要です。

【上野総合市民病院 (☎ 24-1111)】

【名張市立病院 (☎ 61-1100)】

【岡波総合病院 (☎ 21-3135)】

◎伊賀市救急・

健康相談ダイヤル 24

☎ 0120-4199-22

心と体のさまざまな相談に、24時間体制でお応えします。

※通話料・相談料は無料です。

◎伊賀市応急診療所(一次救急)【診療科目】 一般診療・小児科

【所在地】 上野桑町 1615 番地 ☎ 22-9990

【診療時間】 月～土曜日：午後8時～11時

日曜日・祝日：午前9時～正午・午後2時～5時・午後8時～11時

※受付は、診療終了時刻の30分前までをお願いします。

◆夜間・日曜日および祝日診療を行っている医療機関については、次にお問い合わせください。救急医療情報センター コールセンター (☎ 059-229-1199)

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・がめやま

甲賀市

亀山市

発掘速報展 2018

～最新の発掘調査成果を紹介～



甲賀市内にある東山遺跡(信楽町黄瀬)と貴生川遺跡(水口町貴生川)について、最新の発掘調査の成果を紹介しています。

新たに見つかった紫香楽宮に関連する建物の写真パネルや、鎌倉時代の居館跡から出土した土器を展示します。ぜひお越しください。

※観覧無料

【とき】 10月3日(水)まで ※木・金曜日休館
午前10時～午後5時

【ところ】 甲賀市水口図書館・水口歴史民俗資料館ロビー (甲賀市水口町水口 5638 番地)

【アクセス】 新名神高速道路「甲賀土山IC・甲南IC」から約15分

近江鉄道「水口城南駅」から徒歩約2分

【問い合わせ】 甲賀市水口歴史民俗資料館
☎ 0748-62-7141

第11回石水溪まつり

～石水溪キャンプ場の自然の中で遊ぼう!～



溪流沿いのレクリエーションや、キャンプ、ハイキングなどを楽しむ人々に親しまれる石水溪キャンプ場で、石水溪まつりを開催します。

当日は新名神工事現場も間近に見られるミニウォーキングや、宝探し、マスつかみ、出店などさまざまなイベントが催されます。

日差しが和らいできた季節に、大自然の中へ遊びに出かけてみませんか。

【とき】 10月6日(土) 午前9時30分～午後3時
※小雨決行

【ところ】 石水溪キャンプ場施設周辺
(亀山市安坂山町 1178 番地の3)

【アクセス】 名阪国道「亀山IC」から車で約20分
※参加費・申し込みは不要です。

※宝探し、マスつかみについては当日現地でお申し込みください。(先着200人)

【当日の問い合わせ】 石水溪まつり実行委員会
亀山市文化会館内 ☎ 0595-82-7111

【問い合わせ】 甲賀市秘書広報課 ☎ 0748-69-2101

【問い合わせ】 亀山市広報秘書G ☎ 0595-84-5021

病気になるにくい
カラダを作る
健康レシピ

巣ごもり ピザトースト

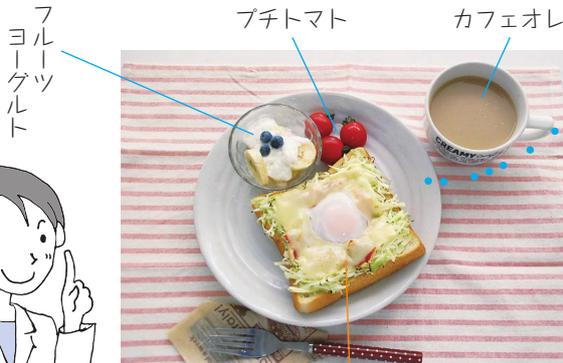


栄養満点朝食で元気はつらつ

1日3食の中で、基本はやはり「朝食」です。私たちの体の中で行われている消化、吸収、代謝の働きは、朝食をとることで働き始めるため、毎日朝食をしっかりすることは体調管理には大切です。また、ごはんやパンなどの炭水化物だけでなく、卵、納豆、チーズなどのたんぱく質を朝食にとることが、筋肉を作るのに効果的です。今回は忙しい朝に手軽に栄養をバランスよくとれるパン食のメニュー提案です。

材料 (2人分)

- 食パン (5枚切り) 160g (2枚)
- キャベツ 120g (中葉2枚)
- 卵 2個
- マヨネーズ 大さじ2杯
- ケチャップ 大さじ2杯
- 塩こしょう 少々
- とろけるチーズ (スライス) 50g (2枚)



巣ごもりピザトースト

1. キャベツを千切りにし、マヨネーズとあえる。
2. 食パンにキャベツをドーナツ状に乗せ、中央に卵を割り、乗せる
3. ケチャップ、塩こしょうで味を整える。
4. とろけるチーズを乗せ、オーブントースターで6～8分焼く。

(1人前：エネルギー 502kcal、塩分 2.7g)

上野総合市民病院 管理栄養士によるレシピです。

伊賀の歴史余話

2

東近畿大水害

山津波の記憶

9月1日は、立春から数えておよそ二百十日目に当たり、古来より「二百十日」として台風などの災害が多いとされる日です。自然に発生する台風や豪雨を止めることはできませんが、過去の災害を知ること、次の被害を最小限に留めることができます。

昭和28年(1953)8月14日から翌日未明にかけて、前線の停滞による激しい雷雨があり、上野測候所では、平年の7・8月の2カ月分の降水量に相当する総降水量286.4ミリ、1時間の最大雨量81.2ミリを観測しました。

この集中豪雨は、伊賀地域から京都府南部に大きな被害をもたらした。「東近畿大水害」と呼ばれています。伊賀地域では、多くの家屋が浸水被害に見舞われましたが、最も大きな被害をもたらしたのは「山津波」でした。

山津波は土石流の一種で、鳥ヶ原・西山を中心に発生しました。家屋や農地が埋没し、橋梁の流失なども相次ぎました。鳥ヶ原村の上田村長は、被災地の視察に訪れた緒方副総理に「山津波というよりも山の爆發だ」と語り、山津波の激しさを伝えていきます。

泥の海、岩石や流木の山と化した

被災地では、行方不明者の捜索が必死に行われましたが、多数の死者・行方不明者を出すことになりました。

また、同年9月25日、台風13号が伊賀地域に襲来し、再び甚大な被害をもたらしました。東近畿大水害と台風13号による災害は、この年の和暦から「二八災害」と総称されています。

昭和44年(1969)、鳥ヶ原に山津波災害記念碑が建立されました。碑文の最後には「後世災害の再び起らざるよう不断の対策を怠るなきを念じ災禍の恐るべきを末永く伝えん」とあります。

近年、集中豪雨による土石流災害が全国各地で頻発しています。伊賀地域も山間部の多いところですが、山津波災害を経験し、記念碑を建立した先人の戒めを思い、災害に備えることが大切です。



▲山津波被害の様子(西山)

総務課歴史資料係
☎ 52・4380

FAX 52・4381